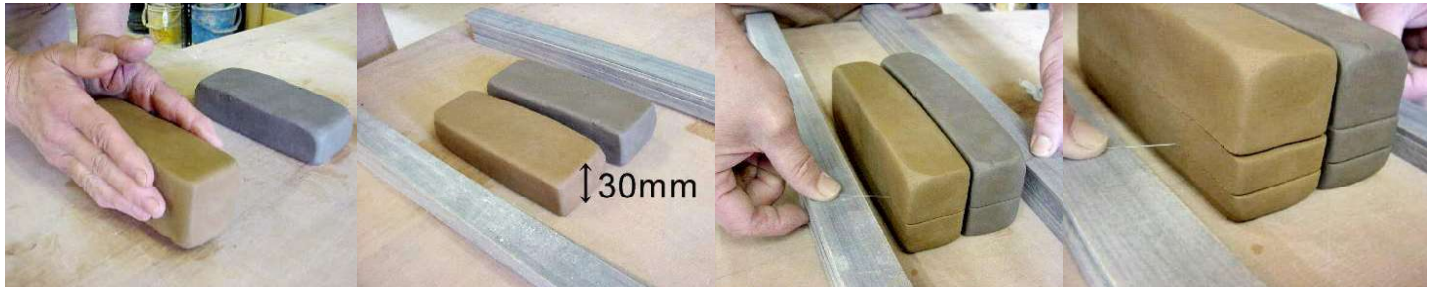


銘々皿

5枚

- 【粘土】 楽白土 and 赤1土
- 【重さ】 各 600g
- 【手法】 タタラ作り 6 mm
- 【装飾】 練込



赤、白土それぞれ板を羊羹のような形にする。

ほぼ 30mm の高さにする。目安にその高さのタタラ板を置く。

90 度起こし、左右に同じ枚数のタタラ置き、同数はずしながら切る。ここでは3分割。

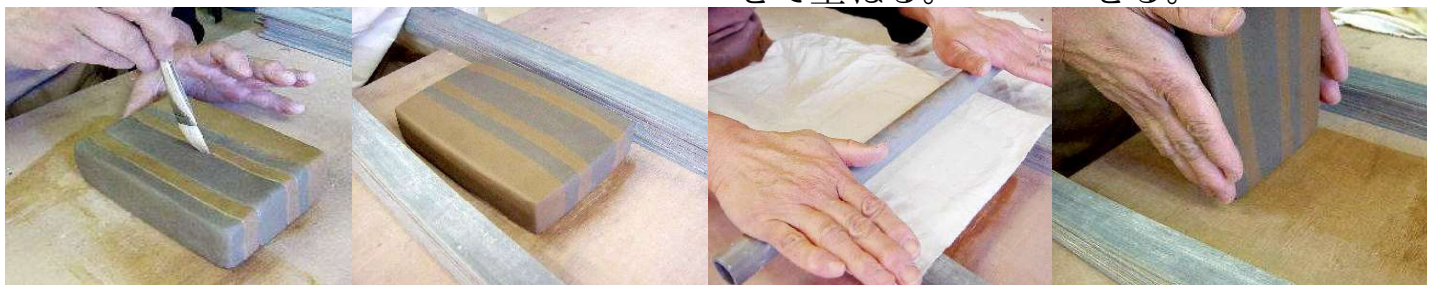


赤土、白土を交互に並べる。

接着面に水をつける。

隙間があかないよう、よくすり合わせて重ねる。

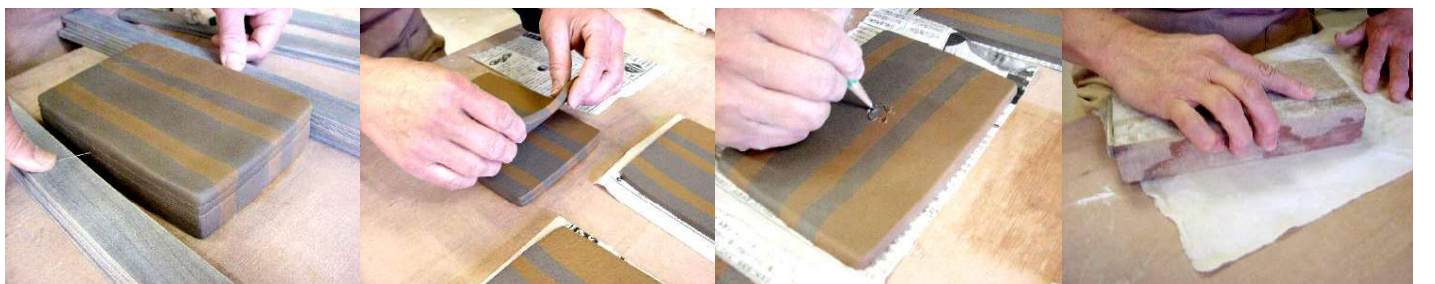
机にトントンとたたきつけてよく接着させる。



重なった部分は更に水を含ませ接着の補強をする。

板 3mm10 枚を左右に置き、たたいて板よりは少し高めにする。

側面にはみ出した粘土を整える。

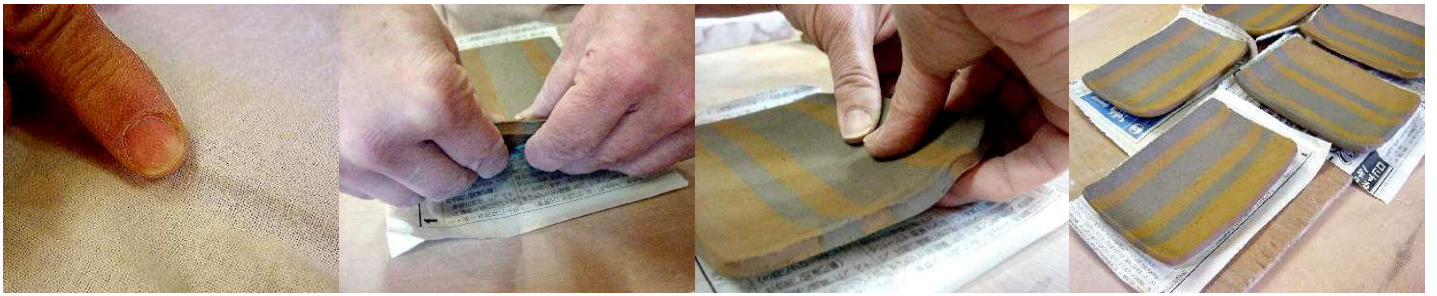


6mm 分ずつタタラ板をはずし切金で5等分する。

一枚ずつ新聞紙にうつす。

裏になる面にサインをする。

布を置き、板でなせて表面をなめらかにする。



カドも布の上から指でこすってなめらかにする。

周りを持ち上げる。

乾燥後、素焼。



素焼後、裏に撥水剤をぬる。

赤土と白土の違いが出る釉薬を選んで掛ける。

スポンジで裏をふく。本焼へ。

ワンポイントアドバイス 練り込みと釉薬



粘土により同じ釉でも、発色が違います。ここでは赤土と白土ですが、中間色の粘土を入れたり、模様、釉との組み合わせは、無限にあります。